

報道関係者各位

2007 年 10 月 10 日

森ビル株式会社

森美術館「ル・コルビュジエ展」に約 60 万人が来館 オープン展に次ぐ、史上 2 番目の来館者数を記録

森ビル株式会社（東京都港区 代表取締役社長 森 稔）が運営する森美術館（六本木ヒルズ森タワー53 階）で 2007 年 5 月 26 日から 9 月 24 日まで、計 122 日間開催された「ル・コルビュジエ展：建築とアート、その創造の軌跡」において、延べ 593,711 人の方々にご来館いただきました。これは、2003 年 10 月の森美術館オープン時に開催された開館記念展「ハピネス：アートにみる幸福への鍵」（2003 年 10 月 18 日～2004 年 1 月 18 日、約 73 万人来館）に次ぐ史上 2 番目となる来館者数です。

森美術館は、文化都心・六本木ヒルズのシンボルとして現代アートを中心に建築、デザイン、ファッションを紹介してまいりました。

今回の「ル・コルビュジエ展」は、建築家であり画家であったル・コルビュジエの多様な才能に迫るもので、弊社社長・森 稔が「人間を中心に捉えつつも機能主義的なその都市論により、私自身の都市観の原型が形成されたとも言える」と述べているように、彼の思想は森ビルの都市づくりの源流ともなるものでした。



彼の建築のインスピレーションの源となったと思われる多数の絵画のほか、建築空間を体感できる実寸模型なども好評を得ました。期間中の来館者は1日平均4,866人、年代別では20代が47%と最も多く、学生も40%と若い世代からも注目度の高い展覧会だったといえます。また、訪れた方々からは、「実寸大の模型があり面白かった」「ル・コルビュジエが好きなので、貴重な作品を一度にたくさんみるのができて良かった」などの感想をいただきました。

次回展覧会は、2007 年 10 月 13 日（土）より、多様な日本のアーティストを紹介する「六本木クロッシング 2007：未来への脈動」展を開催いたします。近年めざましい活躍を見せる若手作家のみならず、1960～70 年代の日本のアートシーンを牽引し、今なお精力的に活動する作家など、年齢、ジャンルを問わず、表現に突出する個性とインパクトを持つ作品を紹介します。日本のアートの未来を担う、36 組のアーティストの競演にご期待ください。
（詳細は別紙）

【本件に関してのお問合せ先】

森美術館 広報部 担当： 高橋・田村

住所： 東京都港区六本木 6 丁目 10 番 1 号 六本木ヒルズ森タワー 森美術館

TEL：03-6406-6111 FAX： 03-6406-9351 E-mail：pr@mori.art.museum

森ビル株式会社 広報室 深野・森澤

住所： 東京都港区六本木 6 丁目 10 番 1 号 六本木ヒルズ森タワー 私書箱 1 号

TEL：03-6406-6606 FAX： 03-6406-9306 E-mail：koho@mori.co.jp